

聴能だより

令和3年6月4日発行 No.2
山梨県立ろう学校 聴能係

連日暑い日が続いています。この時期は、補聴器や人工内耳の毎日の管理が特に大切になります。

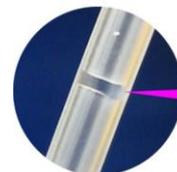
補聴器や人工内耳の管理はできていますか。イヤモールドはきれいですか。ベトベトしていませんか。補聴器や人工内耳は、汗が大敵です。湿気を嫌うため、汗をかく夏は特に気をつけなければなりません。普段から補聴器や人工内耳の管理を行い、故障を防ぎましょう。



◆結露について

クーラーの効いた部屋などから、暑い屋外へ行った時、寒暖差により、補聴器のチューブやフックに“結露”が生じることがあります。チューブに水滴がたまると補聴器から音が出てきません。

- ①チューブやイヤモールドを外し、水滴を飛ばす。
- ②ティッシュをねじってこよりを作り、チューブに通して水滴をふき取る。
- ③水滴が蒸発するまでしばらく待つ。



◆水泳や水遊びで注意すること



- ①補聴器や人工内耳を水気の多いところに持ち込まない。補聴器を外し、乾燥箱に入れて保管する。
- ②水泳後は、髪の毛をしっかりと拭く。
- ③耳の中の水分は綿棒などでとる。



※ぬれたままイヤモールドを付けると、耳や耳の穴（外耳）に炎症を起こすこともあるので気をつけましょう。

※もうすぐ水泳教室が始まります。乾燥箱を用意しましょう。もしない場合は、タッパーに専用の乾燥剤を入れて代用しましょう。

◆イヤモールドのお手入れ

イヤモールドは、直接耳に触れる部分です。清潔を保たないと細菌が発生します。特に夏は汗をかきますので、お手入れを心がけましょう。

イヤモールドは水洗いができます。中性洗剤を少量、水かぬるま湯にいれ、その中で洗浄してください。すすぎと乾燥を完全に終わらせてから補聴器に再接続ください。



補聴器管理

1. 拭き掃除

汗をかいたら、補聴器や人工内耳を外し、やわらかい布やティッシュなどで優しく全体を拭き、水分を吸い取ります。また、補聴器から電池を外し、電池や電池ボックスもよく拭き掃除をすると、さらに故障率は下がります。

2. 乾燥ケースの使用

汗をかいた時、就寝時や長時間補聴器を使用しない時は乾燥ケースに保管しましょう。このとき、電池は必ず外し、乾燥ケースには入れないようにします。乾燥ケースに入れると、電池の寿命が短くなってしまいますからです。また、乾燥ケース内の乾燥剤は定期的に交換してください。乾燥剤の種類にもよりますが、夏の湿気の多い時期は、1ヶ月くらいが目安だと言われています。毎日、乾燥剤（お菓子などについているものではない）の入ったドライケースに入れて、補聴器や人工内耳の湿気を飛ばすことが、故障を防ぐことに繋がります。



3. 防汗カバーの使用

補聴器本体に布製のカバーをかぶせて使用します。汗カバーを使用することで補聴器本体への直接的な汗の付着・浸透を軽減できるので、効果的です。ただし、汗をたくさんかいて、汗がたっぷりしみ込んだ防汗カバーは、常に汗に濡れている状態となります。そこから発生する湿気により、故障に繋がるケースもあります。防汗カバーは、汗を吸収しやすい分、汗が溜まりやすいという欠点が存在することも覚えておきましょう。

